

教 育委員会だより

大豊町の教育

大豊町教育委員会では、平成28年4月に「第2期大豊町教育基本計画」を策定しました。本年度からの5年間は、この計画に基づき、「おおとよ」の未来を託す子どもたちの、かしこく、やさしく、たくましく『生きる力』を育むことを目指します。

そこで、『大豊町保小中一環教育推進協議会』を大豊町内保育所職員および小中学校教職員で構成し、保小中一環教育を主眼とし、「知（かしこく）、心（やさしく）、体（たくましい）」子どもの成長を願い夢を育む子育て教育環境を目指し、教育の改革を積極的に推進することを目的に取り組んでいきます。

保小中一環教育の「一環」には、「子どもたちを中心に、地域・家庭・学校・行政が、それぞれの役割を自覚し、一つの環（わ）になって一緒に育てていきたい！」そんな思いが込められています。

夏が来た!!

6月14日（火）に、おおとよ小学校のプール開きがありました。当日は梅雨の合間の青空の下、気持ちよさそうに楽しむ子どもたちのきらきらした笑顔があふれるプール開きとなりました。



かわいい1年生のあいさつで、プール開きスタート!!



気持ちいいねえサイコー!



おたからはどこだ?



さすが6年生心一つに見事1位!

まちのできごと

限界集落について学ぶ



5月17日、『限界集落』という言葉の提唱した、高知大学名誉教授・旭川大学大学院の大野晃教授が、大豊町中学校で『現代山村と限界集落』と題して講演しました。

大野教授は、「『限界集落』は人々が生活がしづらくなるだけではなく、田畑や山の手入れをする人手がいなくなることで、山が荒廃し地表がむき出しになり、雨が降ると泥水が川や海に流れ出し、環境悪化につながっている」と話し、集落に人が住むことの意義を訴えており、生徒や教職員は熱心に聴き入っていました。

安全祈願祭



6月1日、ゆとりすとパーク第2駐車場で、ユーラス大豊ウインドファーム建設工事の安全祈願祭が行われました。この工事は、2,300kwの風力発電機を8基建設するもので、当日は事業主体である（株）ユーラス大豊風力をはじめ、県内外から多くの関係機関が出席し、平成31年5月末の完成を無事故で迎えられるよう祈願しました。

達人紹介

大豊町総合ふれあいセンターの玄関にあるミニチュアの水車をご存じですか？

東楯ケ内の区長さんより紹介していただき、この水車を手作りした東土居の小笠原俊三郎さんのお宅に取材に行きました。

小笠原さんはとても手先が器用で、写真の水車は昔、脱穀や製粉などに広く使用されていた水車で、実際に水車を回転させると杵が上下します。

取材にお邪魔した時には、廃材などを利用して鉢植えを置く台を作っておられ、他にももぐら除けの風車などちょっと欲しい物をささっと手作りしているようでした。



皆さんの周りに“達人・名人”はいませんか？広報誌『ゆとりすと』では、町民の方々のさまざまな特技を紹介したいと考えています。『花を育てる名人』『なわとびの達人』など、自薦・他薦は問いませんので、ぜひ、総務課庶務班までご連絡ください。子どもから高齢者まで多くの方の連絡をお待ちしております！

おおとよ小学校防犯・不審者対応訓練



6月9日、おおとよ小学校で高知東警察署による防犯・不審者対応訓練が行われました。

1年生から3年生までは、登下校時に誘拐されないように歩き方や不審者とのすれ違いの練習、防犯ブザーの鳴らし方を学び、4年生から6年生までは不審な車から声をかけられた場合の対応を学習しました。大声を出したり、走って逃げたりと自分の身は自分で守る実践的な訓練を行いました。

怪しい場所や危険な場所には近づかない。少しでも怖いと感じたら引き返す勇気も必要です。また、児童だけでなく周囲の大人が通学路などの小さな変化に気づくことが、児童を犯罪から守るには大切なことだと感じました。